

# 令和6年5月13日～5月19日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第3報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月13日～5月19日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月15日と18日に高くなり「注意」を示す21以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、13日は1程度低くなる一方、15日は1近く高くなる等、暑さ指数(WBGT)は小刻みに変化しました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、高知、鹿児島、那覇で「警戒」を示す25以上になる日がありました(表1、表2参照)。

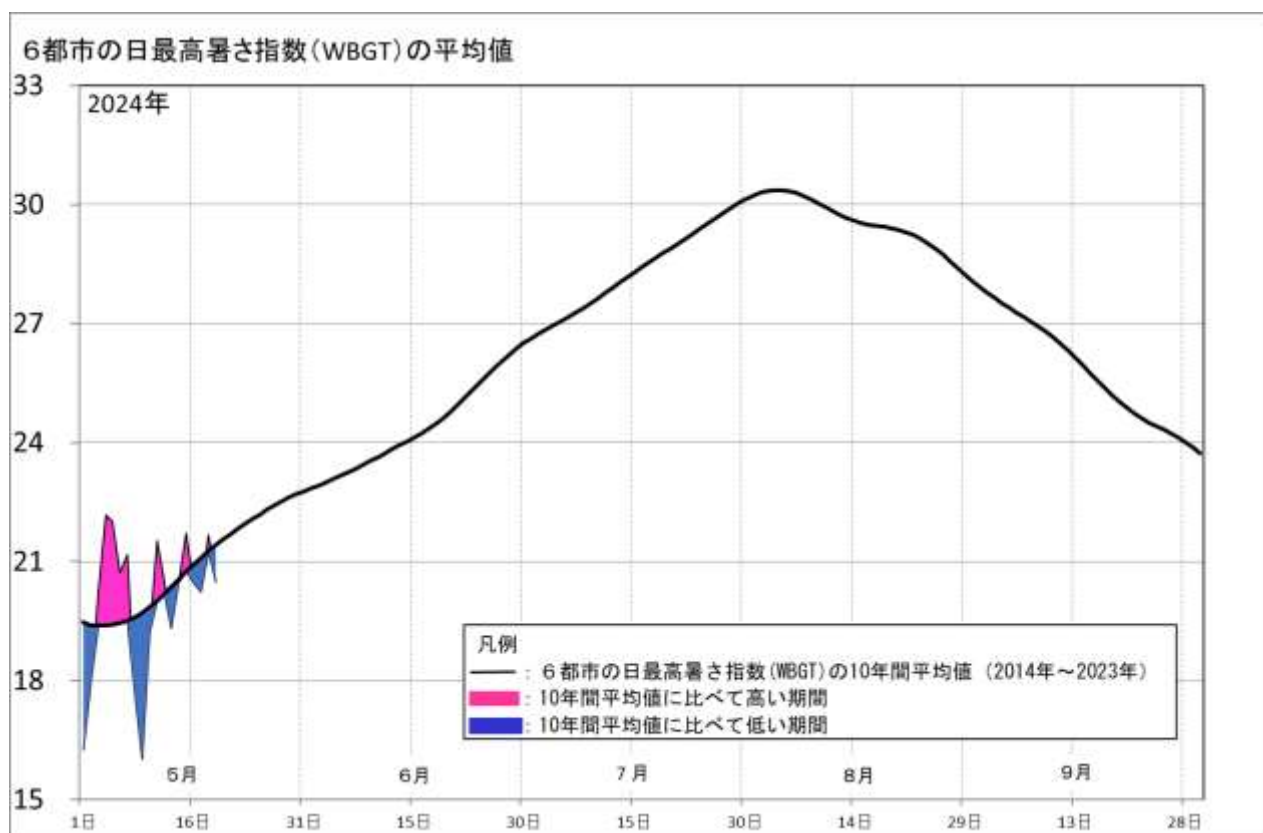


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月13日～5月19日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
13	16.0	19.1	16.9	21.9	19.5	18.4	18.2	21.3	21.0	25.1	25.1	19.3
14	17.7	18.6	18.6	19.4	22.5	22.2	18.8	21.7	21.3	23.3	23.5	20.5
15	17.4	18.7	21.0	23.0	22.2	21.5	20.3	25.3	22.3	23.8	26.3	21.7
16	19.2	18.0	23.4	23.9	23.9	19.4	15.4	18.2	16.8	18.4	22.5	20.5
17	17.7	17.8	17.2	22.1	20.4	19.6	20.1	21.4	22.0	21.7	23.7	20.2
18	20.3	22.5	19.3	24.8	20.9	21.4	20.8	22.6	22.8	23.5	25.7	21.7
19	19.0	21.8	22.1	22.1	20.5	17.7	17.6	16.3	22.9	22.5	27.5	20.5

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月13日～5月19日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	16

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

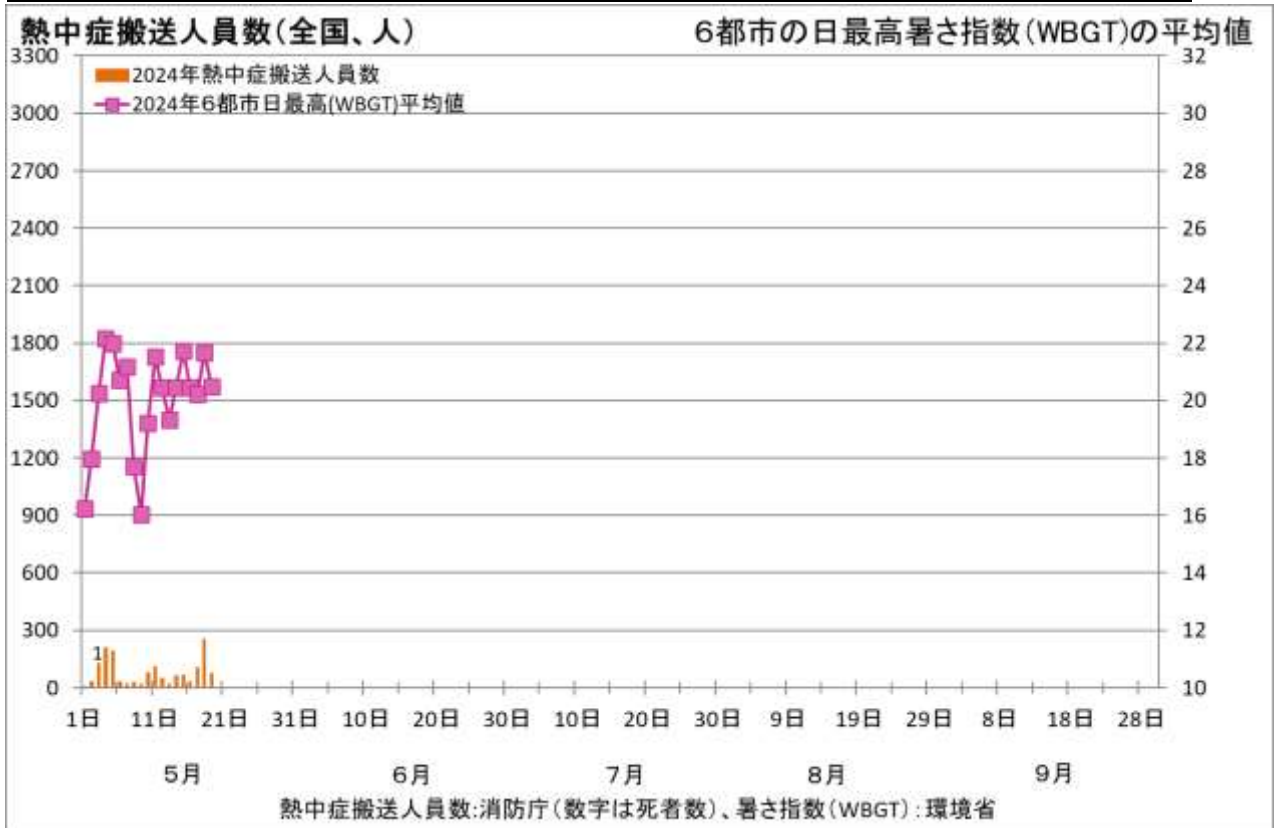


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月13日～5月19日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、15日と18日に高くなり「注意」を示す21以上となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が17日の105人、18日の255人で、5月13日～19日の総数は615人となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

5月13日～5月19日の間、熱中症警戒アラートの発表はありません（表3）。また、熱中症特別警戒情報の発表もありません。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（5月13日～5月19日）

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※1	中国	四国	九州北部※3	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※2	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」  
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通し

5月24日までは、東北地方以南で「警戒」を示す25以上に、関東甲信地方以南で「嚴重警戒」を示す28以上に、沖縄地方で「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（5月22日発表、5月23日～6月3日）によると、「北海道日本海側と北海道オホーツク海側の気温は、5月23日は暖かい空気が流れ込みやすいためかなり高いでしょう。その後は寒気の影響で平年並か低く、かなり低い日もあるでしょう。気温の変動が大きい見込みです。農作物の管理等に注意してください。

北海道太平洋側、東北地方、関東甲信地方の気温は、向こう1週間程度は暖かい空気が流れ込みやすいため平年並か高い日が多く、かなり高い日もあるでしょう。農作物の管理等に注意してください。その後は平年並の見込みです。

北陸地方、東海地方、近畿地方、中国地方、四国地方の気温は、5月24日頃までは平年並か高い所が多いですが、その後は平年並か低い日が多いでしょう。

九州北部地方、九州南部、沖縄・奄美の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため平年並か高い日が多く、かなり高い所もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について  
（気象庁提供図を補足）

